

球美だより (会報)

発行 社団法人久米島町観光協会

沖縄県島尻郡久米島町字比嘉 160-57

TEL 098-985-7115

FAX 098-985-7797

第19号

発行日 平成23年5月25日

◆沖縄振興功績者表彰



久米島町観光協会内に事務局をおく『食物アレルギー対応旅行』が全国初の取り組みとして評価され、沖縄本土復帰記念日にあわせて沖縄総合事務局より「沖縄観光振興功労者表彰」を受賞しました。5月16日の表彰式には大田会長と饒平名で参加させて頂き、翌日の5月17日には、町長への報告を行いました。

アレルギーをお持ちのお客様に安心して離島滞在を行って頂くには、アレルギー食材が付着しない様に細心の注意を行いながら仕込みや調理を行う事はもちろんですが、他にも様々な場面での配慮があります。ホテルを例にとっても、調理・調達担当、予約担当、ホール担当、客室清掃スタッフと各部門での協力なしに

実施出来ません。また、全体を統括し問題解決に向けて取り組む委員会のメンバー等、安全性を持続させる努力は並大抵のことではありませんし、他にもたくさんの方々を支えられ続けている取り組みが、国から認められた事は、とても励みになりました。報告会には現場代表として対応食担当のシェフ、予約スタッフ、委員会代表で総支配人や平良委員長が参加しました。
(饒平名)

◆講習会の開催



去る4月25日にイーフ情報プラザにおいて、沖縄美ら海水族館 内田詮三館長をお迎え「南海の巨鯨と巨魚」をテーマに講演会を開催しました。40名程の参加者があり海の生物の生態について講話を頂きました。特にクジラ・サメ等について詳しく説明があり、その中でクジラは意外と神経質で、快適に過ごせる環境作りが大切であると話していました。今後も、海・陸の動物についての講演会などを開催して行く計画です。
(本永)

◆誘客プロモーション

本年度、沖縄県文化観光スポーツ部より誘客プロモーションの委託事業としての予算処置(200万円)がなされ、現在県担当者と話しながら、どのような活動が良いか作業を進めております。公募型事業ではなく、これまで沖縄県が実施していた誘客活動の一部を受託する形となりますので、委託側である沖縄県文化観光スポーツ部と詰めながら進めて行く手法となります。
(本永)

◆沖縄県離島体験交流事業

平成23年6月1日(水)~6月3日(金)の2泊3日間、豊見城市立座安小学校5年1組36名、2組36名計72名が久米島を訪れます。沖縄県地域離島課の主催による沖縄県離島体験交流事業の一環で、沖縄本島の子ども達が離島の持つ魅力を学び、関心を高めてもらうために企画されました。今年は、全12離島へ8校(19クラス)の派遣があります。

久米島では、ホームビジット体験、ホテル館での環境学習、美崎小・久米島小学校の生徒と一緒にハーリー体験、その後はBBQ交流と、盛りだくさんの内容になる予定です。教育委員会、産業振興課、字儀間・真謝の地域の皆様、各校の先生方・PTAの皆様、ホテルの会、久米島海洋深層水開発さんを中心に協力頂いております。子ども達がまた来たいと思ってくれるようにしたいとおっしゃる方が多く頼もしい限りです。皆様も、座安小の生徒達を見かけた際には是非、声をかけてあげてくださいね。
(饒平名)

◆H23年度修学旅行

23年度の修学旅行来島校が10校1,381名と昨年の17校3,338名と比較して大幅に減る見込みです。県外高校の修学旅行は1年前に予約が決まりますので、確定の数字となります。震災における振替も沖縄本島内に留まっている。厳しい結果となっております。(本永)

◆防災の心構え・・・

時々、修学旅行でご利用頂く旅行代理店からのお問い合わせに、施設概要や損害賠償保険への加入事業者であるかどうか、津波警報発令時の避難場所はどこ?など、即答が難しいお問い合わせが入る事があります。東日本大震災から3カ月が経過しようとしています。日頃から、災害時の避難場所について考える事、観光業に携わる私達は特に『お客様を誘導する』という使命もありますので様々な想定をしておく必要があると思います。保険の期限や内容の見直し、許可証等の期限が切れていないか・・・年に一度、自分で改めて確認する事で養う心構えも必要ではないでしょうか?(饒平名)

◆経理担当のつぶやき

会計ソフトを導入して一年、なんとか決算を終えたのでホッとしている今日このごろです。球美だよりでつぶやいてから「私も会計ソフトやってるんですよ。がんばってね。」と声を掛けていただく事もあり、その言葉に励まされた一年でした。また、「こんな機能があるはずだから使ってごらん。」といったアドバイスを頂いたり、皆様には本当に感謝しております。これからも宜しくお願いしますね。(山川)

◆ニブチの森散策

先日、観光協会スタッフでニブチの森を散策する機会がありました。だるま山園地へ出掛けても、子供と遊具で遊んだりにはしますが森を散策する事がなかったのでとても新鮮な気持ちで散策できました。

遊歩道は綺麗に整備されていて、小さな子供連れでも歩きやすくなっています。森の中にいると、風が吹けば木々の葉がサワサワとささやき、小さな生き物の存在が間近で感じられ、とても癒されました。久米島へ観光に来られる方に、こんな体験も是非してもらいたいですね。(山川)

◆空港案内所より

空港の案内所におりますと、観光客の皆様の色々な声が聞こえてきます。「海は綺麗だし、食事は美味しいし、久米島に来て良かったわ。また、来ますね。」といった方が大勢いらっしゃいますが、中には違った思いで帰路に就く方もいらっしゃいます。「久米島の店はどうして暗いの?営業してるのかしてないのか判らないし、店の人は愛想がないから入り辛くて・・・。」と、このような旅行では楽しめませんし、地元に戻ってから「久米島旅行はどうだった?」と訊かれても「良い所だから、あなたも是非行って見て。」とは答えないでしょう。日本の中だけでも多数ある観光地の中から久米島を選んで旅行に来てくださったのですから、良い思い出を持って帰っていただきたいですね。私達、観光協会スタッフも素敵な思い出作りの一翼を担うべく、精進してまいります。

◆観光協会総会開催のお知らせ

■日時：平成23年5月30日(月) 18:00～ (※総会終了次第、懇親会を予定しております。)
会員皆様のご参加をお願いいたします。参加いただけない場合は委任状の提出をお願いします。(FAX可)

★久米島町観光入域者数 【平成23年4月】★

*過去の統計は、観光協会HPで確認できます。

	入域数			観光入域数	前年同月 観光入域数(人)	前年同月比 (%)
	海路	空路	計			
4月	2,144人	7,127人	9,271人	3,753人	4,613人	81.4%

震災の影響で、キャンセルや新規発生が伸び悩み前年を大きく下回っています。5月・6月も厳しい状況が続くと予想されます。誘客プロモーション活動等様々に取り組み底上げをして行きたいと思っております。